

○空き店舗を活用した優良事例

〈夢カフェ（留萌市）〉

■開店の経過

「夢カフェ」は、留萌振興局管内の留萌市駅前地区にあるカフェ。

留萌市中心街で「やきとりハウス夢物語」を15年間営業している店主が、「地元産のおいしい食材をおしゃれに食べたい」といった地元の声や「使いやすく、みんなが集まれる場所が欲しい」といったニーズから、令和元年5月に開業した。

開業にあたっては、建設業界の人手不足等が要因となり、当初の予定よりも工事費が膨らんだため、留萌市の補助金を活用することができたものの、資金集めに苦労した。



〔夢カフェ〕

■空き店舗の活用

留萌駅前商店街振興組合にあった写真館跡を活用した。世代にかかわらず、駅前に人々が集まれる場所をつくりたかったこともあり、当地での開業を決めた。

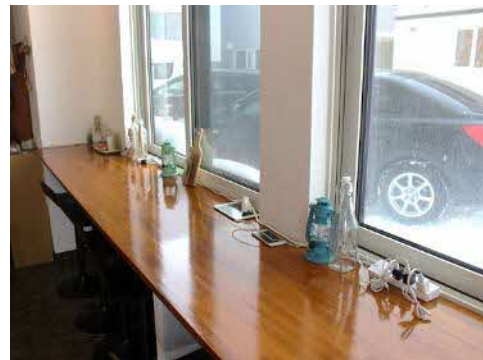
改装に当たっては、暗室を厨房として活用したり、スポットライト等のライトをそのまま店の照明とする等、写真館の特徴を活かすような工夫をした。

また、市民が気軽に入店できるように、前面をガラス張りにするなど、おしゃれな店づくりに努めた。

■カフェの特徴

「夢カフェ」は、管内で収穫される硬質小麦「ルルロツソ」のパスタや米、野菜等の地元食材にこだわったメニューを提供している。

また、商店街の他店舗と連携し、パンやパイを提供したり、定食に老舗漬物店のニシン漬けを添えるなど、商店街の自慢の味も楽しむことができる。



〔店内の様子〕

■コミュニティ機能について

映画の上映や音楽の練習、サークル活動、パーティーの開催など、気軽に利用できるコミュニティスペースを併設している。「趣味を楽しむ人を応援したい」との店主の想いから、カフェを利用する人は無料で利用できる。

徐々に知名度が高まっており、最近では、音楽ライブやママ友サークル、セミナー等、地域住民が集う場所となっているとともに、市長主催の会合にも使用されるなど、多目的に利用されている。



〔コミュニティスペース〕

■キッズスペースの設置

店主の「子育て世代の苦勞を少しでも軽くし、店で一息ついてほしい。」との思いから、店内に6畳のキッズスペースを設置した。

同スペースは、おむつ替えや授乳にも利用できるほか、トイレには補助便座を完備している。また、店舗横の駐車場の一番近い場所を妊婦らの優先スペースにする等、子育て世代が安心して来店できる環境を整備している。

口コミもあり、子連れでの来店が増え、母親達が集う場所として人気となっている。

こうした取組が評価され、令和元年7月、子育て環境が整った施設を留萌市が認定する「カズモあかちゃんの駅」に、個人経営の店舗として初めて認定された。



〔キッズスペース〕

■地域の課題

留萌市の地域商業活性化施策の効果もあり、駅前地区にカフェが出店する等、空き店舗への出店が増えているものの、個店経営者の高齢化の課題もある。

店主も商店街や市のイベントに積極的に参加しており、地域から「駅前地区が盛り上がってきた」との声があるものの、更なる駅前地区の活性化は必要であると感じている。

そのためには、留萌に若い人が戻って来ることが重要であり、市民のサークル活動や趣味等の応援を継続していきたいと考えている。

■今後の展開

令和2年3月には、深川・留萌自動車道が全線開通し、駅近郊への道の駅整備も計画され、駅前地区の集客への期待が高まっている。

駅前地区への誘客を図るためには、商店街が地元客や観光客の受け皿となる必要があり、そのためには、後継者のUターンなど、商店街の活性化が不可欠であるため、今後も商店街と連携を図りながら、夢のある店づくりに努めていきたい。



〔店内の様子〕

取材先

■夢カフェ

留萌市栄町2丁目5-3

TEL : 0164-56-1140